

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行について（警報）

平成29年2月22日（水） 15:00

北海道釧路総合振興局保健環境部

保健行政室（釧路保健所）

TEL 0154-22-1233 FAX 0154-22-1273

道では感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律に基づき感染症発生動向調査を実施しておりますが、平成29年第7週（平成29年2月13日～平成29年2月19日）において、当保健所管内の定点当たりのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告数は、警報基準である8人以上となりましたので、蔓延を防止するため警報を発令します。

今後、流行がさらに拡大する可能性がありますので、感染予防に努めるようお願いいたします。

記

1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

A群溶血性レンサ球菌による上気道感染症です。主な症状として、発熱、咽頭痛、リンパ節腫脹、嘔吐があります。適切な抗菌薬の投与により、24時間以内に感染力は消失します。熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。

2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の感染予防

A群溶血性レンサ球菌は人との接触や飛沫によって感染します。そのため、手洗い・うがいやマスクの着用による感染予防をこころがけましょう。

また、保育園や学校など集団生活をおこなう場所では集団感染に注意が必要です。

3 その他

（1）最近5週における定点医療機関からのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者報告状況

（表示は、「報告数（患者／定点）」単位：人）

区分	第3週 (1/16～1/22)	第4週 (1/23～1/29)	第5週 (1/30～2/5)	第6週 (2/6～2/12)	第7週 (2/13～2/19)
釧路保健所	30 (4.29)	26 (3.71)	55 (7.86)	34 (4.86)	61 (8.71)
全道	417 (2.94)	522 (3.68)	670 (4.72)	543 (3.82)	(-)
全国	6285 (1.99)	6857 (2.17)	7337 (2.32)	6852 (2.17)	(-)

* 第7週の患者報告数は速報値。

* 全道の流行状況については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページでご覧になれます。（<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>）

（2）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報とは

厚生労働省の感染症発生動向調査により把握した、全道の定点医療機関を受診したA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者数が、国立感染症研究所において設定した警報レベルの基準値に達したときに発令し、大きな流行の発生や継続が疑われることを指します。

〈A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の警報レベル〉

	開始基準値	終息基準値
定点当たりの患者数（人）	8	4